■道の駅なかつ

2014年にオープンした道の駅。城下町の町屋をイメージした趣ある建物で、農産物直売や地元山海の旬の味覚や老舗和菓子、工芸品などが揃い、お土産を買うのに最適です。レストランでは地元の新鮮な食材を使った料理も提供しています。中津観光の情報発信拠点としてもご利用ください。【中津市】

■なかつ燦燦市場

中津市の地域ブランド「なかつファイブスターストーリー」をはじめ、中津市の「おいしい たのしい うれしい」をお届けするインターネット販売サイト。中津市は修験者の山として名高い英彦山を源に周防灘に注ぐ山国川が縦貫しており、山、川、里、海のすべての産物に恵まれています。豊かな自然が育んだ、こだわりの品々をぜひご自宅でお楽しみください。【中津市】

■中津城(奥平家歴史資料館)

黒田官兵衛孝高(後の如水)によって築かれた石垣は、未加工の自然石を積み上げる当時の最高技術である穴太積み(あのうづみ)で造られています。現在の天守閣は中津藩最後の藩主・奥平家の資料館となっています。【中津市】

■福澤諭吉旧居・福澤記念館

国指定史跡福澤諭吉旧居には、自ら改造し勉学に励んだ土蔵が当時のまま残されており、時代をリードしてきた諭吉の人生の原点を垣間見ることができます。隣接する記念館には福澤諭吉の書・手紙・写真などのほか父百助の書や関係する人々の資料が展示されています。【中津市】

■耶馬渓橋(オランダ橋)

八連アーチ石造橋としては、日本唯一のもの。山国川に架設され、その橋長は116m。その長さは日本一を誇り、8連のアーチもわが国唯一。長崎に多い石橋のためオランダ橋と称されています。青の洞門の近くにあり、名勝耶馬渓の景とあいまって独特の美しさを持っています。【中津市】

■中津市歴史博物館

黒田官兵衛が築いた九州最古の近世城郭の石垣が鑑賞できるよう、石垣側を総ガラス張りにした博物館です。館内には常設展示室と様々な企画を行う企画展示室のほか、石垣シアターやミュージアムショップ、カフェなど、無料で楽しめるブースもあります。【中津市】

■八面山

中津市のシンボルでもある八面山は四方八方、どの方面から見てもほぼ同じ形に見えることから八面山と名づけられたそうです。標高は659mで、山頂付近まで車で行くことができ、開放感ある景色を望めます。平成28年8月、八面山からの夜景が日本夜景遺産に認定されました。【中津市】

■青の洞門

禅海和尚が掘った隧道(トンネル)で耶馬渓を代表する名勝である競秀峰の裾野にあります。明治39・40年に大改修がありましたが、現在もトンネル内の一部に明かり採り窓などの手掘り部分が残っており、当時が偲ばれます。【中津市】

■宇佐神宮

全国に4万社余りある八幡社の総本宮。本殿は建物の前後に2つの切妻屋根を有する八幡造の代表例として、国宝に指定されています。一之御殿/八幡大神(応神天皇)、二之御殿/比売大神(多岐津姫命、市杵島姫命、多紀理姫命)、三之御殿/神功皇后(息長帯姫命)をお祀りしています。宝物館には、国宝「孔雀文磬(くじゃくもんけい)」などが展示されています。【宇佐市】

■宇佐市平和資料館

宇佐海軍航空隊の歴史や命の尊さ・平和の大切さを学ぶ場として、平成25年6月に開館。米軍による空襲の映像や映画「永遠の0」で使用された零戦の実物大模型などの見学ができ、戦争の悲惨さを伝えます。【宇佐市】

■いんない石橋めぐり

院内町では、江戸時代末期から昭和の初めにかけて数多くの石橋が架けられました。現存するもので79基あり、日本一の石橋の町であります。石橋の持つ独特の造形美の中に、優れた技術を持って多くの石橋を架橋した名棟梁・松田新之助をはじめとした、かつての匠たちの力強い息吹を感じることができます。【宇佐市】

■大分県立歴史博物館

国宝・富貴寺大堂の建立当時の様子を再現した実物大模型や、宇佐や国東の文化に関わる貴重な文化財を展示しています。【宇佐市】

■中津干潟

瀬戸内海の西、周防灘に面した豊前市から国東半島にかけて、干潟が広がり、そのほぼ中央部にあるのが中津干潟。有明海と並んで日本屈指の広さを誇り、日本三大干潟の一つとして数えられます。広さは約1350ヘクタール。現在でも、アオギスやカブトガニなど絶滅危惧種の貴重な住処となっています。また、かつてはあさり・バカ貝の生産地として有名でしたが、近年では温暖化や捕食生物の襲来により漁獲数は激減しています。そんな中、新たな干潟漁業として、真牡蠣養殖を開始し、「ひがた美人」のブランド名で出荷しています。【中津市】

■道の駅耶馬トピア

本耶馬渓はそばの産地として知られ、道の駅耶馬トピアではそば打ち体験(有料)ができるほか、そば処やそば加工品が豊富に揃うお土産処もあります。【中津市】

■薦神社

全国八幡の総本社である宇佐神宮の元宮である薦神社は、歴代の中津藩主に保護され、重厚で華麗な建築物です。広い三角池は、御神霊を祀る内宮で、鯉が群れ遊び広い神苑とともに市民の憩いの場として親しまれ、隣接した桜の名所大貞公園とともに閑静なたたずまいを見せています。

■国指定重要文化財

【中津市】

■道の駅やまくに

「清流、緑、ホタル」をテーマにした、ステンドグラスのある山小屋風の建物。地元中津市山国町の特産品や木工品のほか、中津市6次産業産品などを販売しています。レストランでは、うどん・そばに加えて地元食材中心の料理を味わうことができます。【中津市】

■みたらしちゃんティーパック【(有)耶馬渓製茶】

かわいいキャラクター「三毛猫みたらしちゃん」の絵柄パッケージに抹茶入煎茶3gをティーパックに入れました。ぬいぐるみやマグカップもあって、自分へのご褒美、お友達へのプレゼントにも最適です。【中津市】

■猿飛千壺峡

山国川の源流地「山国」にある自然の造形物。長い年月をかけ、自然の渓流が造りあげた大小無数の甌穴が峡底に広がっています。国指定天然記念物。【中津市】

■中津からあげ

中津市内にはからあげを取り扱う店舗が多数点在しており、「からあげの聖地」とよばれています。そんな中津では醤油や塩をベースに十数種類の調味料を使ったタレでしっかり下味をつけ、注文を受けてから揚げたてを提供する店舗が多く、こだわりの味付けで冷めてもおいしく食べられるよう様々な工夫をしてあります。【中津市】

■ハモ

耶馬渓の森の栄養をたっぷり含んだ山国川の水が注ぎ込む豊前海で育つハモは、日本一の呼び声高く、中津はもちろん、同じくハモ料理で有名な京都でも愛されています。また、中津で水揚げされるハモは箱に入れると「つ」の字になるほど大きいことから「つの字ハモ」とよばれています。【中津市】

■深耶馬温泉館 もみじの湯

耶馬渓の川沿いに立つ日帰り温泉施設。露天風呂に入りながら、新緑や紅葉など季節ごとの自然が楽しめます。2種類の露天風呂があり、男女日替わりです。【中津市】

■一目八景(深耶馬渓)

山国川の支流、山移川に沿った景勝地は、一度に八つの景色が眺望できることから「一目八景(ひとめはっけい)」の名がついています。紅葉の季節には渓流や岩肌が赤や黄色で彩られ、多くの人で賑わいます。【中津市】

■西谷温泉

さわやかな太陽とゆたかな緑、澄み切った空を彩る星たちの競演…抜群の自然環境にある温泉。広い浴槽でゆったりと温泉をお楽しみいただけます。また、中津市内には十数か所の温泉が点在し、各地で様々な特色を持った温泉を楽しんでいただくことができます。【中津市】

■響山公園

響山は市民の憩いの場として親しまれており、梅雨の風物として、古くから愛されている約3,000本のあじさいが公園を彩ります。雨にも映える赤、白、紫色の色鮮やかなあじさいは多くの人を和ませてくれます。【宇佐市】

■双葉の里

前人未到の69連勝を成し遂げた不世出の横綱・双葉山生家の復元にともない平成11年にオープンしました。【宇佐市】

◀双葉山生家(復元)

■不世出の横綱 双葉山

『不世出』とは相撲の神様・双葉山だけに許された称号です。不敗の英雄神話は昭和11年1月場所に始まり、それから昭和14年の1月場所までの実に3年間にわたって双葉山は敗けることを知りませんでした。いまだに破られることのない前人未到の69連勝です。連勝が止まったのち、知人に送った『ワレ イマダ モッケイタリエズ』という言葉は孤高のトップランナー・双葉山を語る有名なエピソードです。【宇佐市】

■妙庵寺

宇佐市登録文化財
龍王城主・細川幸隆公廟所
眞慈院殿一漚妙菴大居士
(慶長12年11月1日享年37才)
・細川藤孝(幽斉)公三男、忠興の弟、能楽の名人
・龍王城は元和元年(1615年)一国一城令により廃城となる
【宇佐市】

■道の駅いんない

日本一の石橋の郷「宇佐市院内町」の中心部、国道387号線沿いに「道の駅いんない」はあります。石橋に関する情報や体験コーナーをはじめ、国指定天然記念物の日本一大きなオオサンショウウオも間近で見ることができます。【宇佐市】

■福貴野の滝

福貴野の滝は「雄滝」と「雌滝」からなり、高さ65mを誇ります。「龍泉寺の滝」ともいわれ、龍泉寺の裏にある滝見台から見下ろす景観を文人墨客が好んで作品にするほど荘厳な滝であります。【宇佐市】

■東椎屋の滝

日本の滝百選に選ばれた東椎屋の滝は、日光華厳の滝に似ているところから「九州華厳」と称され、高さ85mの断崖を落下する様は圧巻です。【宇佐市】

■安心院盆地

大分県北部の宇佐平野からやや南方に入った山間部に位置し、昼夜の寒暖差の激しい気候を活かしたブドウの生産が盛んです。毎年夏に安心院盆地祭りが開催されます。【宇佐市】

■岳切渓谷

耶馬渓溶岩がつくった一枚の大きな岩盤の上を清流が流れ、夏には落差27mの大飛の滝まで約2kmにもわたり裸足で沢歩きが愉しめます。【宇佐市】

■安心院の朝霧

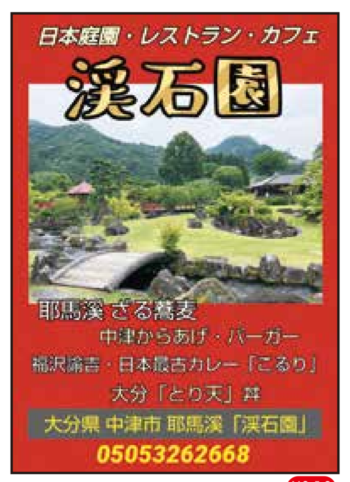
宇佐市安心院町の朝霧。晴天の朝、冷え込みと同時に霧が盆地を覆い、あたりを一望できる家族旅行村「安心院」の展望台からは、美しい景色が見られます。【宇佐市】

■鏝絵(こてえ)

安心院町では、明治初めから盛んに描かれるようになり、大作が多く恵比須、大黒などの定番題材に加えて、がま蛙や天狗などユーモラスな鏝絵が残っています。【宇佐市】

■鷹栖つり橋公園

鷹栖つり橋公園付近は古くから景勝の地として知られ、全長132.5mの歩行者専用のつり橋は、鷹が対岸の百間岩にある巣へと飛び立とうとする姿、また、観音堂がある対岸に向かって合掌している人の姿を表現したデザインとなっています。【宇佐市】



広告掲載のお問い合せ・お申し込みは 英公社株式会社 790-0831 愛媛県松山市山田町1386-5 TEL 089-977-9333 FAX 089-977-9345 https://wowmap.jp ◆2020年6月1日調整 KI:2271 2020.06

◆この地図は英公社株式会社(版権所有)発行の最も新しい地図を調整したものです。
いかなる形式においても、著作権者に無断で、この地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。